

CLUB WEEKLY No.0008

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック



会長 溝畠 正信



ロータリー財団月間

例会日：2024年11月25日
(令和6年11月25日)

今日の例会

2024年11月25日

- 今日の歌 【それでこそロータリー】
- 出席報告
- ニコニコ報告
- EXPO フェスタ PR 八尾ロータリークラブ
会長 長竹 浩 様 ガバナー補佐エレクト 田中康正様
- ロータリー財団・米山奨学会について 溝畠正信会長
- 卓話の時間 宮岸 隆副会長

次の例会

2024年12月2日

- 今日の歌 【四つのテスト】
- 出席報告
- ニコニコ報告
- 勉強会

会長の時間

溝畠会長

大阪上方ロータリークラブが発足して4か月が経ちました。会員の皆様には、ロータリーのことについて出来るだけ知っていただけるように情報を提供したいと考えています。ともに奉仕活動をしていきましょう。

ロータリークラブは、さまざまな分野の職業人が集まり、知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培う場として、1905年（明治38年）にアメリカのシカゴで創立されました。およそ120年前から存在する「奉仕と親睦の団体」です。当時の日本は日露戦争の最中でした。そして15年後の1920年（大正9年）、日本で初めてのロータリークラブが設立されました。

現在、200カ国以上の国と地域にクラブがあり、会員総数は約120万人（日本は約8万5千人）の世界的な団体です。では、ロータリークラブは具体的にどのような活動をしているのでしょうか？

現在、世界中のロータリークラブは「ポリオ根絶」という共通の目標を掲げています。この取り組みには、ビル・ゲイツ財団も協力しており、ロータリークラブが集めた寄付金の2倍の額をビル・ゲイツ財団から寄付していただき、ポリオ根絶に役立てています。イスラエルのガザ地区での予防接種支援や、ウクライナに対する人道的支援、経済的困窮地域における自立支援など、世界中でロータリーの会員がさまざまな奉仕活動を行っています。

ロータリークラブに入会することで、このようなさまざまな奉仕活動に参加し、共に汗をかき、経験を積むことで、友情と感動そして広い視野を得ることができます。さらに、日本だけでなく、世界的な人脈を築くことも可能です。そして、その効果として自己研鑽が図られ、皆様の人生、仕事にも必ず役立ちます。

あとで、ロータリー財団、米山奨学会についてスライドでお示します。

大阪上方ロータリークラブ

創立：2024年7月29日 例会：第1・3週目は対面・第4週目はオンライン

会長：溝畠 正信

幹事：竹谷 美和

会報資料担当：青戸 佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪

TEL : 06-6773-1111 FAX : 06-6773-3322

【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12 医療法人翔聖会 気付

TEL : 080-2026-1803 MAIL : osaka.kamigata.rc@kind.ocn.ne.jp

幹事報告

竹谷幹事

*他クラブへのメーキャップ訪問

参加者：溝畠正信会長、平松悦子会長エレクト、

朝倉千勝親睦委員長

〈大阪北ロータリークラブ〉

日 時：11月27日（水）12:30～13:30

場 所：阪急インターナショナルホテル

〈大阪難波ロータリークラブ〉

日 時：11月28日（木）

場 所：スイスホテル大阪南海

*地区大会

11月29日（金）、30日（土）各自配布した名札を

忘れずにお持ちください。

*本日

八尾ロータリークラブよりメーキャップ2名様來訪

2025年6月7日（土）EXPOフェスタのPR訪問

会長 長竹 浩 様

ガバナー補佐エレクト 田中康正 様

【第4回理事会報告 11月18日】

理事・役員9名

出席者：溝畠会長、平松会長エレクト、宮岸副会長、竹谷幹事、

青戸会計、遠藤SAA、久保職業奉仕委員長、

間嶋国際奉仕委員長、濱部社会奉仕委員長

*地区委員への出向者 中島勇人会員を推薦

*後期分の年間費及び諸経費の納入のお願い

（12月中旬ご案内予定）

*2025-26年度役員・理事

〈役員〉 〈理事〉

会長	平松悦子	会長	平松悦子
直前会長	溝畠正信	直前会長	溝畠正信
会長エレクト	間嶋伸治	会長エレクト	間嶋伸治
副会長	濱部英和	副会長	濱部英和
幹事	久保太公矢	幹事	久保太公矢
会場監督 (SAA)	遠藤孝二	会場監督 (SAA)	遠藤孝二
	会計	青戸佳世	
	職業奉仕委員長	中井良美	
	国際奉仕委員長	安田剛	
	社会奉仕委員長	竹谷美和	

*中長期計画委員会立ち上げ

委員長 間嶋伸治 副委員長 濱部英和

委員は後日決定

前回出席報告

2024年11月18日

※() 内数字は出席免除会員の出席人数 会員：33名（免除0名）

会員数	33(0)名
出席会員数	16(0)名
ゲスト	0名
ビジター	0名
合 計	16名

16/33 出席率：48.5%

ニコニコ報告

溝畠 正信 様	11月はロータリー財団月間です 当クラブは皆さんでポリオプラスソサエティに 登録しましょう
平松 悅子 様	本日も宜しくお願い致します
間嶋 伸治 様	感謝
水野 順 様	いつもありがとうございます
佐藤 寿延 様	いつもありがとうございます
竹谷 美和 様	11月イベント参加よろしくお願いします
久保 太公矢様	未来ある子供へ
濱部 英和 様	いつもありがとうございます
安田 剛 様	いつもありがとうございます
道木 良明 様	いつもお世話になりありがとうございます
道木 憲子 様	
遠藤 孝二 様	いつもニコニコで
朝倉 千勝 様	蟹のおいしい季節になりました 本日も宜しくおねがいします
宮岸 隆 様	ちょっと寒い
青戸 佳世 様	秋が深まって参りました 皆さん例会に出席しましょう

皆様、ありがとうございました

15名 合 計 ¥27,000

ロータリー財団月間に因んで

ロータリー財団委員会 委員長

新堂 博

(大阪城北RC)



ロータリー財団月間とは、クラブだけでなく、ロータリー会員一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー（R I）理事会が指定した月間のことです。

【地区補助金とグローバル補助金の財源はロータリー会員からの寄付】

ロータリー財団には、クラブの社会奉仕や国際奉仕プロジェクトに対する補助金など、各クラブの活動を側面から支援し、活性化するプログラムのひとつにシェアシステムがあります。これを支える大きな柱が年次基金への寄付です。年次基金は資金運用され3年後に、元本と運用益の半分が国際財団活動資金(WF)に、残り半分が地区財団活動資金(DDF)に配分されます。

WFはグローバル補助金、ロータリー平和センターの維持費や奨学金などの資金となり、DDFはクラブが実施する地元や海外における奉仕活動を支える主な資金源となります。

各クラブによる奉仕プロジェクトは、ロータリアン各位の財団に対する毎年の寄付金があつてこそ。

クラブとロータリアンの各年度の活動プログラムを支援するため、地区目標として年次基金寄付一人当たり\$150、恒久基金寄付\$30、及びベネフアクター寄付の継続的な財団への寄付をお願いします。

【ポール・ハリス・ソサエティ PHS入会のお願い】

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、毎年1,000米ドル以上を、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金などにご寄付くださる方を認証するプログラムで、財団に継続的な支援を寄せてくださる寄付者の方々に感謝の気持ちを示すことを目的としています。

2025年2月1日(土曜日)にはPHS会員の皆様とPHSに関心のある方々を対象とした、「ポール・ハリス・ソサエティ顕彰式・懇親会」を予定していますので是非ご参加ください。

【ロータリーとポリオ根絶活動、ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS) 入会のお願い】

ポリオの根絶は、長年にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。活動開始以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、ポリオは未だに根絶には至っていません。残すはパキスタンとアフガニスタンの山深い国境と言われていますが、目標を実現するまであきらめることなく、ポリオが地球上から根絶されるまで活動は続きます。

根絶には多額の費用が必要です。そのためにも、ポリオプラス基金への寄付に関して、ロータリー会員の皆様には、一人当たり\$50以上をお願いしております。

「…ポリオ根絶活動において、ゲイツ財団とロータリーとの長年のパートナーシップは不可欠となっていました。ロータリアンなしではここまで来ることはできませんでした」。とはビル・ゲイツ氏の談。長年継続してきたビル・メリンダ・ゲイツ財団からのロータリーの募金における2倍の上乗せは継続されます。

ポリオ根絶に向けて更なる寄付のお願いですが、ポリオプラス寄付に毎年100ドル以上をご支援下さるポリオ・プラス・ソサエティ (PPS) への入会のご検討をお願いします。

『ロータリーの友』の変遷

創刊まで

1952（昭和27）年4月25日、大阪市で開かれた地区大会では、次年度（1952－53年度）から日本が2つの地区に分割されることが決定していました。それまで一つの地区としてまとまっていた日本のロータリアンが2地区に分かれることで、寂しさと期待の入り交じった雰囲気が当時の人たちにはあったようです。そのようなロータリアンの気持ちから、2地区になってからも連絡を緊密にするため、共通の機関誌の創刊が企画されました。

第1回の準備会は大阪で開かれました。当時、大阪ロータリークラブ（R C）の星野行則氏がガバナーであったこともあり、同クラブの露口四郎氏が幹事役となって開催されました。東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブ代表者が出席しました。共通の雑誌ということでしたが、東と西では雑誌に対するイメージがかなりくい違っていました。西の星野氏は^{とうしゃ}贋写版刷りの簡単なものでよいから早くという意見でしたし、東では贋写版では手軽過ぎて恒久性がない、初めからある程度きちんとしたものを望むという考えでした。最初の会合では具体案の作成には至りませんでした。

第2回の準備会が岐阜R Cの遠藤健三氏の世話で、1952年7月、岐阜・長良川畔の大竹旅館で開かれました。この時は、第1回の準備会よりも具体的になり、議

論も沸騰したようです。ここで下記の内容が決定しました。

1. 編集委員は合議制とする。
2. 東京で発行する。
3. 定価50円とするが、広告を募集、掲載し100円の内容のある雑誌とする。
4. 名称は『ロータリーの友』とする。
5. 横書きとする（横書き、縦書きで意見が分かれ、各クラブの意向をうかがうため一般投票を行ったところ、2対1の割合で横書きが採用されることになった）。
6. 創刊は1953年1月号とする。



『友』創刊号

1953年1月	創刊 発行部数3,300部 横組みでスタート。その後、併壇・歌壇など、一部の記事を縦組みで入れることに	
1972年1月号	縦横混在の従来の形式を一変し、縦組みと横組みに分けた現在の形式に変更	
1977年	ロータリークラブ定款第10条（当時）の改正に伴い、国際ロータリー（R I）に公式地域雑誌の規定が設けられる	
1980年7月号	R I公式地域雑誌（現、ロータリー地域雑誌）の認定を受ける	
1986年3月号以降	モノクロから、2色刷り、カラーページが増えていく	

ロータリーの友より